

# ホシガレイの摂餌量の個体差

福島県水産資源研究所 種苗研究部

## 1 部門名

水産業 - 栽培漁業 - 種苗生産、ホシガレイ

## 2 担当者

森口隆大・鈴木信

## 3 要旨

種苗生産では、同サイズで収容しても飼育日数が長くなると成長差が生じる。

しかし、個体別の摂餌量を求めることができないため、成長差の要因として考えられる摂餌量を把握した事例は少ない。本試験では、供試魚を個別管理することによって摂餌重量および個体別の重量を把握することで、成長差の生じる要因として考えられる摂餌率について数値化した。

- (1) ホシガレイ(人工採卵、20月齢)を190L分割水槽に36尾収容し、配合餌料を用いて、3~5回/日の頻度で手まき給餌し、すべての個体で摂餌しなくなるまで給餌した。
- (2) 給餌期間は2018年10月7~8、10日(計3日間)とし、体重と給餌期間中の摂餌量(累積摂餌重量)および摂餌率との関係について把握した。
- (3) 体重が重い個体ほど多く摂餌していた(図1)。しかし、摂餌率で見ると同月齢、同サイズの個体同士でも体重の1~6%の差があることが確認され(図2)、成長差の生じる要因として示唆された。

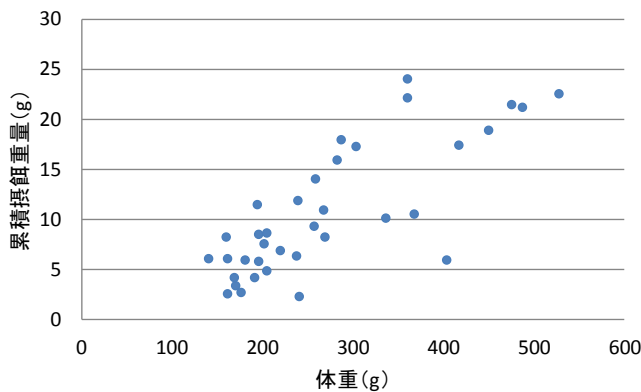


図1 各個体の累積摂餌重量

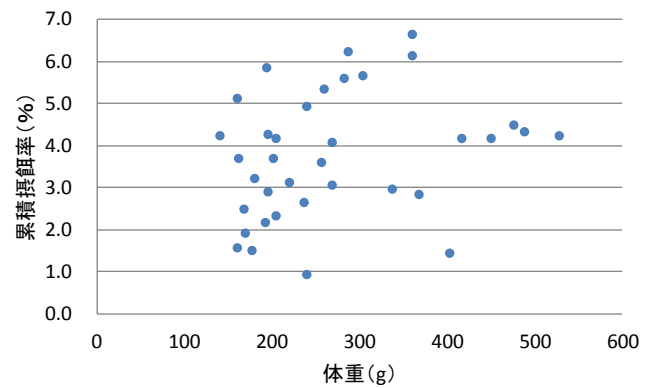


図2 各個体の累積摂餌率

## 4 成果を得た課題名

- (1) 研究期間 平成30年度
- (2) 研究課題 水産生物の種苗性改善に関する研究
- (3) 成果区分 発展見込

## 5 主な参考文献

なし